

湧水郷

嘉島西小学校
学校だより 第10号
平成30年2月9日 文責 中野

大好きな学校を目指して!

1 学習発表会

2月3日(土)に土曜授業として、学習発表会を行いました。1年生から6年生までこの1年間の学習をふりかえり、自分たちのがんばってきたことやできるようになったこと、そして次の学年へのやる気を堂々と大きな声で伝えることができました。それぞれの学年の発表内容の一部を紹介します。

1年生「できるようになったよ(発表)」

入学して10か月。国語で文字の読み書き、算数では足し算や引き算、長さや大きさの学習、音楽での合奏、体育でのマットや縄跳び、家での手伝い、そして、英語によるコミュニケーションなど多くのことを学び、力を身に付けてきました。4月からは2年生。新1年生のお兄さん、お姉さんとして学校のことを優しく教えてくれることだと思います。

2年生「たんけんしたけん 見つけたけん(劇と歌)」

2年生探検隊が自分たちの住んでいる地域(郵便局、交番、給食センター、町図書館)を見学し、自分たちのために多くの人が仕事をしていてくれることを知り、感謝の気持ちを持つことができたこと、人権学習では「相手のことを考えることの大切さ」、確かめもしないで「きめつけることのおかしさ」を学んだことなどを発表しました。最後には全員で「ありがとうの花」の歌をうたい、元気と感謝の気持ちを精一杯伝えることができました。

3年生「3年生の足跡～タイムスリップで見に行くモン!～(劇)」

3年生はこの1年間の成長の足跡を子どもたちの考えた劇で発表してくれました。子どもたちが学習の中でお互いに励まし合いながら学習してきたこと、リコーダーの使い方や味噌づくりではゲストティーチャーを招いて学習してきたことなどを発表しました。発表内容はもちろん、劇のシナリオを自分たちで考えたことに子どもたちの成長を感じました。

4年生「学びの花を咲かせよう(群読、劇、歌、合奏)」

4年生は1年間の学びを群読、歌、合奏等盛りだくさんに発表してくれました。一つ一つの発表だけでも十分に見ごたえのある内容でした。1年間の学習をふりかえる中で、来年度は上級生、学校のリーダーとしてがんばっていこうという決意を強く感じました。その気持ちが最後に歌った「はじめの一步」の歌詞に表れていました。

はじめの一步(いっぽ) あしたに一步 今日から 何もかもが 新しい
はじめの一步 あしたに一步 勇気を持って大きく 一步 歩き出せ



1年生の発表の様子



5年生「ニュースNL5(劇とプレゼンテーション)」

5年生は1年間を通して学習したことを「ニュースNL5」で伝えました。限られた時間に作った小道具、本番のセッティング、それぞれの劇の配役等、それぞれの役割を意識しながら自分たちで行動することができていました。

5年生の子どもたちはこの1年、学校の次のリーダーを意識して、「あいさつ」「集団行動」「協力」「役割」の4つのめあてを立てて取り組んできました。特に豊野少年自然家の活動では自然や仲間とのふれあいで大きく成長できました。環境センターと水俣病資料館では、水俣病を正しく理解し、いじめや差別のおかしさを深く学びました。そして、「学んだことを自分たちのできることで生活に生かしていきたい。」と、堂々と発表してくれました。

最上級生として、NL(ネクストリーダー)として西小を引っ張っていくという意気込みも感じました。早速、学習発表会の後、片付けを自分たちから進んでやり遂げてくれました。



学習発表会の片づけをしてくれた5年生

6年生「実現しよう 平和な社会(構成詩)」

6年生は2学期に修学旅行に行きました。戦争や原爆のおそろしさを見て、聞いて、気づき、考え、行動していきたいことを発表しました。子どもたちは一発の爆弾で8万人以上の犠牲者を出した戦争のおそろしさを知りました。戦争や核兵器のない平和な世界を創っていくために二度と戦争を起こしてはいけないということが大切なことを気づきました。

そして、子どもたちは次の3つのことが必要であることを考えました。

- ① 一人ひとりが戦争のおそろしさを知ること
- ② 同じ過ちを繰り返さないこと
- ③ 話し合いお互いを認め合うこと

戦争や核兵器のない平和な世界を創っていくために、一人ひとりができることを少しずつやっていくことを下級生の子どもたちや保護者の皆様方に伝えることで行動できました。

この一年間、特に修学旅行で学んだ「平和の大切さを伝える」というバトンを受け取り、バトンを受け渡すという役割を果たしてくれました。そして、これからも多くの人にバトン(学んだこと)を受け渡して、平和な世の中になることを実践してくれることを期待します。

2 夢教室

昨年度に引き続き、5年生で夢教室を実施しました。本年度の夢先生はアトランタオリンピックに出場しマイアミの奇跡をおこした一員で、現在U-22代表のコーチの秋葉忠宏さんでした。一緒にゲームをしていく中で、子どもたちは「100%全力を出し切る。ルールを守ること。知恵を出し合い、協力すること」の大切さを学びました。その後、話の中では、目標(夢)に向かって頑張っているときには、嫌いな

ことや辛いことを乗り越える力がついてくる。そして、「失敗やまちがいを気にしない心」「ぶれない強い心」「周りの人にちょっと手をさしのべる大切さ」などにも気づけたことを話されました。子どもたちは真剣なまなざしで聞き入っていました。帰り際には、「5年生の子どもたちは話の聞き方がよく、反応がよかったです。素直でとても良い子どもたちですね。」とほめて頂きました。



夢先生 秋葉さんの話を聞く子どもたち